

事務事業名	四ツ葉学園保育所運営事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名 後藤 和子
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	中西 章博	電話番号:0854-40-1044 (内線):2251
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意 図	A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	
	基本事業	〈072〉子育てと仕事の両立支援	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1:1:5:0:2 項 目 中事業 中事業 1:0:2:0:0:2	私立保育所運営事業 四ツ葉学園運営事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
入園児童及びその保護者	入園児童を心身ともに健やかに育成するとともに、保護者の働き方の多様化に柔軟に対応し、子育てしやすい環境をつくる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)	・四ツ葉学園保育所への入所申し込みがあった場合、受入れの可否を照会。可能な場合は、協議、委託契約締結などを経て入所承諾をし、保育料を徴収する。 実施責任を負う雲南市が四ツ葉学園保育所に保育の実施に要する費用を支弁する。委託児童数の増加に伴い、入所定員(90名→平成22年4月:100名)の増加。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・委託先の四ツ葉学園保育所に実施費用を支弁する。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・平成22年度定員増(90名→100名)

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 希望児童数に対する受入率	%	99.0	99.0	100.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
保育委託料:108,821千円	国庫支出金	千円	52,724	50,127	51,705	54,797
【財源内訳】 国 51,705千円(給付費) 県22,397千円(給付費、1・2子軽減、3子軽減) その他5,703千円(保育料)	県支出金	千円	23,617	22,059	22,397	23,754
	地方債	千円				
	その他	千円	5,986	6,324	5,703	5,865
	一般財源	千円	30,114	29,075	29,016	30,494
	事業費計	千円	112,441	107,585	108,821	114,910

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	共働き世帯の増加、働き方の多様化などにより、事業の継続的な実施が求められている。また、延長保育、一時保育など、保育ニーズに対応するため、施設と連携を取りながら、保護者の仕事と子育ての両立支援を行っている。
② 事業実施するうえでの課題	国において保育士配置基準の見直し等が検討されているので、国の動向により、対策が必要となってくる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国基準等に基づき現状維持又は改善を図っていく。 今後児童数の減少により、引き続き保育必要量の確保ができれば定員への見直し等を検討していく必要がある。